

## ❀ こどもの感染症一覧表 ❀

病 名	主 な 症 状	感 染 経 路	潜 伏 期	感 染 期 間	登 園 の め や す
※インフルエンザ	高熱（39～40℃）咳・ 関節や筋肉の痛み・鼻水 全身のだるさ・喉の痛み等	飛沫 接触	平均2日 （1～4日）	発熱1日前～3日目を ピークとし7日まで	発熱した後5日を経過し、か つ解熱後3日を経過するまで
※咽頭結膜熱 （プール熱） <アデノウイルス>	高熱（39～40℃）のどの痛 み・頭痛・眼の充血・眼ヤ ニ	飛沫 接触	2～14日	ウイルス排出は初期数 日が最も多い。数か月排 出が続く事もある。	発熱・のどの痛み・結膜炎な どの主症状が消退した後2日 を経過するまで
★麻疹（はしか）	発熱・鼻水・くしゃみ・咳・ 眼の充血・眼ヤニ・頬の内 側のコプリック斑（白い斑 点）・全身の発疹	空気 飛沫	8～12日 （7～18日）	熱が上がる1～2日前か ら発疹出現4日目頃ま で	発疹に伴う熱が解熱した後3 日を経過するまで ※麻疹の感染力は非常に強 い
★流行性耳下腺炎 （おたふくかぜ）	発熱と耳の後ろや耳の下、 顎の下などの唾液腺の腫れ （押すと痛む）酸っぱい物 を飲食すると痛み強まる	飛沫 接触	16～18日 （12～25日）	耳下腺などが腫れる 3日前から、腫れた後 4日間は最も感染力が 強い	耳下腺・顎下腺又は舌下腺の 腫脹が発現した後5日を経過 し、または、全身状態が良好 になるまで
★風疹 （三日はしか）	発熱・ピンク色の発疹・耳 や首の後ろのリンパ節腫れ	飛沫 接触	16～18日 （14～23日）	発疹出現7日前から出 現後7日目頃まで	発疹が消失するまで
★水痘症 （みずぼうそう）	発疹は、紅斑→水疱→膿疱 →かさぶたに変化。時に痒 みや痛みがある。	空気 飛沫 接触	14～16日 （10日未満 21日程度）	発疹出現1～2日前か ら、全ての発疹が痂痂 （かさぶた）化するまで	すべての発疹がかさぶたに なるまで
★百日咳	コンコンと短い咳が続く。 独特な咳発作（ヒューと笛 を吹くような音を立てて息 を吸う）がみられる	飛沫 接触	7～10日 （5～12日）	咳が出現してから4週 目ごろまで。抗菌薬治療 を開始して、7日程度で 感染力はなくなる	特有の咳が消失するまで。 または、5日間の抗菌薬療法 が終了するまで
★髄膜炎菌性 髄膜炎	発熱・嘔吐・頭痛意識障害。	飛沫 接触	4日以内 （1～10日）	有効な治療を開始して 24時間経過するまで	医師により感染の恐れがな いと認められるまで
★流行性角結膜炎 （はやり目）	眼の充血・まぶたの腫れ・ 異物感・眼ヤニ	飛沫 接触	2～14日	発症後2週間（初期の数 日は感染力が強い）	感染力が強いため結膜炎の 症状が消失してから
★急性出血性結膜炎 （アポロ病）	結膜出血・まぶたの腫れ・ 異物感・目ヤニ・角膜びら ん ※視力障害に注意	飛沫 接触 経口	1～3日	呼吸器から1～2週間、 便から数か月間	医師により感染の恐れがな いと認めるまで
★腸管出血性大腸菌 感染症（O157・O 26・O111）	水様性下痢・腹痛・脱水 血便など	接触 経口	10時間～ 6日	少ない菌量でも感染す る。便中に菌が排出され ている間は感染力があ る	症状が治まり、抗菌薬の治療 が終了し、48時間をあけて連 続2回の検便が陰性であるこ と

★印は医師による登園届の意見書が必要になりますので、園の方へご相談ください。

※インフルエンザとアデノウイルスは、医師の意見書は必要ありませんが、体温表への記入用紙があります。登園の際に提出をよろしくお願ひします。

病 名	主 な 症 状	感 染 経 路	潜 伏 期	感 染 期 間	登 園 の め や す
感染性胃腸炎 (主にノロ、 ロタウイルス など)	吐き気・嘔吐・下痢 腹痛・発熱  ※脱水に注意	飛 沫 接 触 経 口	ノロは 12～48 時間  ロタは 1～3 日	急性期の便や嘔吐物の感染 力が強い  ※乾燥してエアロゾル化し た吐物が感染源となる 空気感染もある	※園独自の目安として・・・(あくま でも個人差はありますが・・・) ・ロタウイルスによる胃腸炎は便が 白っぽくなりますので、便の色が普 通便の色であること。 ・下痢ではなく普通便であること (下痢や吐き気止めの薬を服用して の症状なしは認められません) ・普段の食事が摂れること
マイコプラズ マ感染症	しつこい咳(特に夜 間が多い)・発熱・頭 痛	飛 沫	2～3 週間 (1～4 週間)	抗菌薬治療を開始する前と 開始後数日間	発熱や激しい咳が治まっているこ と
溶連菌感染症	発熱(39.℃前後) のどの腫れや化膿 のどの痛み	飛 沫 接 触	2～5 日	適切な抗菌薬治療を開始す る前と開始後 1 日間	抗菌薬内服後 24～48 時間(1～2 日) 経過していること リウマチ熱、急性糸球体腎炎に注意
伝 染 性 紅 斑 ( リ ン ゴ 病 )	風邪症状と顔面の紅 斑・頬と四肢にレー ス状、網目状の紅斑	飛 沫	4～14 日 (～21 日)	風邪症状発現から顔に発疹 が出現するまで	全身状態がよいこと
手 足 口 病	発熱。水泡性の発疹 が口内や手足の末端 肘・膝・お尻にみら れる	飛 沫 接 触 経 口	3～6 日	手足や口内に水泡・潰瘍が 発症した数日間 便からのウイルス排出は数 週間持続する	発熱がなく(解熱後 1 日以上経過し) 口内炎の影響がなく、普段の食事が とれること
ヘルパンギー ナ	高熱(39℃↑)のどの 痛みやのどの奥に口 内炎ができる	飛 沫 接 触 経 口	3～6 日	呼吸器から 1～2 週間 便からは発症から数週間 持続	発熱がなく(1 日以上経過し)口内炎 の影響がなく普段の食事がとれる こと
R S ウィルス 感染症	発熱・鼻汁・咳・ゼ ーゼー・呼吸困難	飛 沫 接 触	4～6 日 (2～8 日)	3～8 日(乳幼児では 3～4 週 間持続)	呼吸器症状が消失し、全身状態が良 いこと
帯状疱疹	片側に丘疹、小水泡 が帯状に群がる	接 触	期間は特定 できない	水疱を形成している間は感 染力がある	すべての発疹が、かさぶたになるま で
突発性発疹	高熱(38℃↑)3～4 日 間続く。解熱と共に 体幹を中心に発疹	飛 沫 接 触 経 口	約 10 日	発熱中は感染力がある	解熱し機嫌が良く全身状態が良い こと
伝染性膿痂疹 (とびひ)	湿疹や虫刺されを搔 いた後、びらんや水 疱ができ化膿する	接 触	2～10 日	痂皮にも感染性が残ってい る	とびひが乾燥している事やとび ひの部分を覆うことができる程 度のものであること
アタマジラミ	特に耳の後ろから 後頭部にかけての部 分に多くみられる。 かゆみを伴う	接 触	10～14 日 成虫まで 2 週間	産卵から最初の若虫が孵化 する 10 日～14 日の間 プール遊びは参加できない	家庭内でもうつるので家族同時 に駆除すること。寝具類や衣服な どは熱湯(55℃、10 分で死滅)又 は、熱処理(アイロンなど)する
水 い ぼ	球状のいぼ	接 触	2～7 週間、 時に 6 カ月ま	いぼの内容物にて感染が広 がる プール遊びは参加できない	掻き壊さないよう注意する 自然消滅を待つ間に他児へ感す することが多い